

学校長あいさつ

学校長 大日方 悦夫



本校ホームページを開いていただきましてありがとうございます。

本校の歴史は、1912年（明治45年）に創立された丸子農商学校と1925年（大正14年）に開設された丸子実科高等女学校に始まります。戦後両校が統合され、丸子実業高等学校となり、時代の要請や地域社会の要望に応え何度かの学科変更はありましたが、専門学科と普通科による教育を実践してまいりました。

2007年（平成19年）、従来の専門学科と普通科を閉科し、自己の未来設計と進路実現をめざす総合学科を開設し、校名も前身の丸子実業高等学校から丸子修学館高等学校へと変更しました。教育綱領「質実剛健」「自主創造」「温雅協調」を基に、総合学科システムによる教育をすすめる本校は、今年で創立98年となります。県下有数の伝統校であり、卒業生数は、2万9千余名を数え、地元上田市はもちろん、全国各地で活躍しています。

総合学科は、様々な学習活動を通して「何に向かって、何をどのように学び、どのように生きていくか」を追究する学科です。具体的には、「産業社会と人間」（1年次）、「キャリア・スタディ」（2年次）、「キャリア・レッスン」・「総合研究」（3年次）の学習を通して、自らの未来を設計します。そして一人ひとりの多様な進路を実現するために、選択講座（本年度開講数163講座）から自分の進路や興味・関心に合わせて自由に選択し、「自分の時間割」にしたがって学習を進め、自己実現への道を開拓して行きます。こうして培われた力によって就職はもちろん国公立大学はじめ上級学校への進路実現をはたしています。

本校は、学習活動以外の生徒会・クラブ活動・ボランティア・福祉活動等などの分野でも高い評価をいただいています。甲子園出場11回の野球部はじめほとんどの運動部が県下トップクラスの実績を残しています。文化部も全国大会出場の美術部はじめ熱心に活動を展開しています。こうした背景には、自ら課題を発見し主体的に解決するという総合学科で培われた力が役立っていることと、多くの分野で活躍している同窓生や地域の方々による本校への応援、バックアップの賜物と感謝しております。

“鉄は熱いうちに打て”といます。吸収力のある高校生時代をいかに過すかは、その後の人生を大きく左右します。さまざまな学びのシステムを用意した本校で、勉強やクラブ活動はじめ様々な活動に取り組んでみませんか。そしてそれらの活動を通して、視野を広げ、人間力を高め、本当に自分が進みたい道を考え、選び取ろうではありませんか。

丸子修学館高等学校は、総力をあげて皆さんをサポートします。